

令和6年度 山口県立農業大学校 学校評価シート

〔重点目標〕

- ①担い手の確保・育成
- ③土地利用学科の運営
- ⑤畜産学科学修の充実
- ⑦危機管理の徹底

- ②新規就農・就業者の確保・育成（農業・林業）
- ④園芸学科学修の充実
- ⑥効率的な業務運営体制の構築

重点目標	達成目標・評価指標	中間評価 ・ 達成見込み 達成度(1-10)	外部評価と次年度改善策 ※詳細は別紙
■学生教育 担い手の確保・育成	●中学高校等と連携の取組(中学職場体験・高校交流学修等) 5項目100%実施 ●進路確定(2年生) 100%	●中高連携5項目実施済み ●進路確定100%(見込み)	10 ①今後も充実した農大教育の継続を期待 ・学生の意向や情勢を踏まえ継続
■社会人研修 新規就農・就業者の確保・育成(農業・林業)	◎農業 ●定員確保 (短期入門研修40名・作目基礎研修70名) ●進路確保 (担い手養成研修生進路確保100%) ◎林業 ●確実な研修生育成(修了率100%)	●短期:42名作目基礎:58名 ●担い手進路確保率:100% ●林業修了率:96%(26人/27人)	8 ②コミュニケーション能力の育成に関する教育の充実 ・引き続き校外学修や講義等を活用し強化
■土地利用学科の運営 学科運営方法等の確立	●水稲・露地野菜生産プロジェクト学修:12課題 ●農機操作等動画作成:2種類 ●トヨタ生産方式による現場改善:4テーマ	●12課題実施済み ●動画12種類作成中 ●現場改善12テーマ実施中	10 ③自分たちで考える取り組みの継続 ・トヨタ式カイゼン教育等を導入し強化
■園芸学科学修の充実 野菜・花き・果樹の各種技術実証の学修	●スマート・オリジナル品種等の技術実証学修:8件 ●農薬残留分析 (2検体/年:ミトマト・ブドウ) ●食品安全事故ゼロ	●実証学修8件実施済み ●農薬残留分析 ⇒ブドウ済・トマト実施済 ●食品安全事項発生無し	10 ④寮生活、一人一部屋を希望する生徒が増加傾向 ・学生自治会とも連携しながら検討
■畜産学科学修の充実 酪農・肉用牛経営の安定を図る技術実証の学修	●2年生人工授精実施:1頭/1人以上実践 ●1年生人工授精師免許取得:1年生5名 ●スマート畜産の実践による個体管理 分娩間隔:酪農442日以下 肉用牛418日以下	●2年生:5人/5人 ●1年生:4人/5人 ●分娩間隔(達成) 酪農416日 肉用351日	8 ⑤出口調査、販売実施の強化 ・販売実践演習等の機会を通じ販売を見据えた取組を充実
■効率的な業務運営体制の構築 (「やまぐちワークスタイル」の推進)	●課、グループ、室単位に業務平準化等による36協定の遵守(時間外勤務縮減) ・特別延長(月65h、年450h以内)の達成	●情報共有を強化⇒前年度実績・本年度目標を下回り達成見込み (36協定の遵守を継続)	10 ⑥就農(業)後の離職率の低減につなげるための取組の拡大 ・校外研修を通じ意欲の醸成と交流の促進
■危機管理の徹底	●所属職員連絡システムの周知による危機管理の徹底 ・感染症や災害等への対応の徹底	●緊急連絡体制の確保、感染症発生状況の監視、警報発令時の対応を徹底	10 ⑦幼少期からの農業教育の拡大 ・小中高の施設見学やインターシップの受け入れ